



「明日を拓く技術開発」

平成24年10月4日(木)
あいち産業科学技術総合センター
産業技術センター総合技術支援・人材育成室
担当 太田、依田
電話 0566-24-1841
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤(淳)、山口 内線3380、3381
ダイヤルイン 052-954-6347

あいち産業科学技術総合センターが 「明日を拓く技術開発」を発行します — 最新の研究開発成果・技術支援事例を紹介します —

あいち産業科学技術総合センターでは、県内中小企業の方々のモノづくりに対する技術支援を行っています。

このたび、当センターの成果を県内中小企業の方々の新技術・新製品開発により広く活用していただくため、最新の研究成果と、技術相談・依頼試験などの技術支援事例をまとめた「明日を拓く技術開発」を発行します。この冊子は隔年発行しており、今回は前回の発行(平成22年度)以降の事例を中心に紹介しています。

研究開発の事例として、「グリーン・イノベーション(環境・エネルギー)」、「ライフ・イノベーション(介護・健康・福祉)」、「ナノテク・情報通信・新材料等」の分野から30事例、また技術支援事例として18事例について、写真入りで紹介しています。

この冊子は、当センターをご利用される中小企業の方々をはじめ、関係業界団体、組合等に無料配布します。

1. 概要

(1) 体裁

A4判 21ページ 写真(カラー)入り

(2) 構成

研究開発成果事例	グリーン・イノベーション(環境・エネルギー) ライフ・イノベーション(介護・健康・福祉) ナノテク・情報通信・新材料等	12事例 9事例 9事例
技術支援事例		18事例
高度分析機器の紹介		6事例

2. 作成部数

2, 000部

3. 掲載内容の例

(1) 研究成果事例

NO.2 傷防止効果に優れたパルプモールド緩衝材（産業技術センター）



輸送中の振動による擦れによる製品の傷を防ぐため、傷防止効果に優れたパルプモールド緩衝材を開発しました。これにより、パルプモールドの緩衝材の利用範囲を精密機器、電子部品等まで拡大することに寄与しました。

●特徴

表面の柔軟化や引裂強度の低下防止等が期待できるラテックス、ポリエチレン系繊維を添加することにより、製品の傷発生を大幅に低減しました。

また、衝撃による緩衝材割れの防止効果も向上しました。

●応用事例

電子部品を対象としたパルプモールドトレイ（写真）を県内企業と共同で開発し、大手電機メーカーの包装品として採用されました。

(2) 技術支援事例

NO.42 茶粉末をキャップに封入したペットボトル緑茶の開発支援

（食品工業技術センター）



粉末茶用セラミック臼を製造している企業から、ペットボトル飲料用の粉末茶封入キャップの開発について技術相談がありました。

●支援内容

キャップに封入した茶粉末の長期保存性を確保するため、約2年半にわたり企業の技術者を研究生として受け入れ、保存に伴う茶の成分や色調の変化の分析、官能評価などを実施しました。この結果を元に構造や材質の検討を重ね、保存性を確保するだけでなく、手軽に操作できる構造の新しいキャップが開発されました。

●支援結果

飲用時に茶粉末と水を振り混ぜることで、新鮮なお茶をいつでも手軽に楽しむことのできるペットボトル緑茶が製品化され、現在市販されています。

4. 問合せ先

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター 太田、依田

〒448-0013 刈谷市恩田町一丁目 157 番地 1

電話：0566（24）1841 FAX：0566（22）8033

URL：<http://www.aichi-inst.jp/>